



第3回 日本医療安全学会学術総会 プログラム集

完璧に安全な世界を目指して
—— 医療安全を質と量から向上する。多職種・学際による連携の構築 ——

会期: 2017年3月18日(土)～19日(日)
場所: 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区本郷7-3-1)
会長: 許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター・センター長、元東大病院教授(重症心不全治療))
山根 隆志 (神戸大学工学部機械工学系教授)
辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)
副総会長: 清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、東大病院前副薬剤部長)
新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

抗ウイルス剤 薬価基準収載
ハーボニー® 配合錠
HARVONI® Combination Tablets
(レジバスピル/ソホスビル配合錠)
処方箋医薬品: 注意—医師等の処方箋により使用すること

抗ウイルス剤 薬価基準収載
ソバルディ錠400mg
SOVALDI® Tablets (ソホスビル製剤)
処方箋医薬品: 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む
使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売元
ギリアド・サイエンシズ株式会社
〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 16階
<http://www.gilead.co.jp/>

資料請求先
メディカルサポートセンター
フリーダイヤル 0120-506-295 9:00-17:30 (土日祝日及び当休日は除く)

STR15DS0088AD
2016年4月作成

第3回日本医療安全学会学術総会

会期: 2017年3月18日(土)～19日(日)

場所: 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区本郷7-3-1)

TEL: 03-3812-2111

会長: 許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター・センター長、元東大病院教授(重症心不全治療))

山根 隆志 (神戸大学工学部機械工学系教授)

辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)

副総会長: 清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、東大病院前副薬剤部長)

新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

統括: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

プログラム委員会:

医科医療安全分野、臨床医学安全分野、歯科医療安全分野、医療機器安全分野、

医薬品安全分野、看護安全分野、ならびにその他の関連分野、における理事・代議員、他

組織委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

主催

一般社団法人 日本医療安全学会

後援

厚生労働省、東京都、日本医師会、日本歯科医師会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本内科学会、日本癌学会、日本救急医学会、日本新生児成育医学会、日本神経学会、日本リハビリテーション医学会、日本臨床腫瘍学会、日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本診療放射線技師会、日本臨床工学技士会、日本緩和医療学会、日本ケアマネジメント学会、日本産業看護学会、日本災害看護学会、日本歯科衛生士会、他

連絡先

日本医療安全学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770

Email: 3amt@jpscscs.org

ご挨拶

共同総会長

東京都健康長寿医療センター・センター長

元東大病院教授(重症心不全治療)

許 俊鋭



「医療安全と医療倫理」

昨年7月に酒井亮二理事長のご提案で「医療安全倫理・モラル研修会」が開催されました。酒井理事長は、医療安全は多職種の医療者から構成される病院をはじめとする医療機関において、医療安全を確立するためには「良いルール/規則/システムを作ること」や「良いプログラムを充実させた安全講習を企画する」だけでは不十分であり、『良いルールとそれを順守する高潔な精神=優れたスポーツマンシップ』が不可欠と喝破され、職業人としての医療安全を守る高い精神が必要と説論されました。

今から15年前、日本では『横浜市立大学「患者取り違え」事故』や『都立広尾病院「消毒薬静注」事故』が発生し、イギリスでは『ブリストル病院「乳児開心術」事件』が発生しましたが、洋の東西でこれらの事故を契機に医療安全への取り組みがスタートしました(医療安全元年)。その後、厚生労働省を中心に医療安全推進室設置、医療安全対策

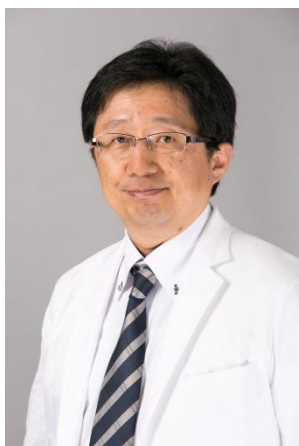
検討会議が開催され多くの対策や制度が作られました。行政に加え医学会・医師会・法曹界・患者団体等が医療安全に真剣に取り組んだ結果、2015年には医療事故調査制度が施行されました。しかし、最近の『東京女子医大「プロポフォール」事故』、『群馬大学「腹腔鏡手術」事故』に関連した「特定機能病院の承認取り消し」に見られるように、医療安全への道がますます険しくなっているような気がします。「特定機能病院の承認取り消し」に至った最大の要因は「病院のガバナンスと個々の医療従事者のモラル欠如」と考えられます。ルールよりもモラル、すなわち「人間は誰でもミスを犯す」「事故はいつでも起こり得る」という謙虚な危機意識を持つことが医療安全にとって最も重要と考えられます。これまで経験した多くの医療事故事例から、医療に関連した事故に際してやってダメなことは「虚偽と隠蔽」であり、医療事故調査で不必要なことは「犯人探しと責任追及」・必要なことは「原因究明と再発防止」と言われてきましたが、言うまでもなくその根本に個々の医療従事者の医療モラルが確立されていなければなりません。医療従事者に対するモラル教育は一朝一夕で確立することは不可能で、医学生教育・看護学生教育から始める必要があります。医師・看護師をはじめとする医療従事者が医療の現場で働き始めてからの医療モラル教育の開始では遅過ぎるのではないのでしょうか。

共同総会長

近畿大学医学部附属病院安全管理部教授

近畿大学医学部血液・膠原病内科教授

辰巳 陽一



このたび、第3回日本医療安全学会学術総会を2017年3月に東京大学で開催するにあたり、共同総会長を務めさせていただくことになりました、近畿大学医学部附属病院安全管理部の辰巳陽一です。

日本医療安全学会学術総会も第3回を迎えますが、第1回総会から携わらせていただき、その学会としての特徴が徐々に明確になってきたのではないかと感じております。

本学会は、医療における各種の安全分野の専門家の意見を極めて広い見地から募ることで多職種横断的、学際的な情報を得ることをその根幹として謳っています。

これを、昨今話題になっているレジリエンスという考えに照らし合わせてみると、単純に臨床の見地から見れば、医療行為における行動規範の考え方や捉えられる反面、これを純粋に科学の視点から複雑適応システムの行動論と捉えてみると、その背景は自然科学、数学、社会科学と多岐に渡り、医療界のみならず、多くの非医療分野の専門家の智慧に触れることで、はじめてその謎が解き明かされることが想像されます。

この専門分野の垣根を超えた情報共有こそ、「我々は医療の安全性を高めるために尽力してきたが、改善に向けた進展速度は、もどかしいほど遅い」と言われ、未だ混沌としている医療事故低減への道標をくっきり浮かび上がらせるための光であり、今回の総会でも、この流れを更に加速するべく尽力させていただきたいと考えております。

共同総会長

神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻教授

山根 隆志



医療機器は開発段階で、医薬品医療機器等法に基づき、有効性と安全性を評価し、製造販売承認を得なければならない。とくに新医療機器では開発すると同時に、有効性と安全をいかに立証するかその評価法を定め試験評価しなければならない。また臨床応用された後も、機器ごとに治療方法の創意工夫がなされ、安全性確保のため実施医・実施施設を認定する実施基準を定める必要がある。それと同時に PMDA による市販後調査を行い、学会によりハイリスク製品のレジストリーを広く拡充していく必要がある。

本学会は、開発者、研究者、臨床医、コメディカルといった異業種の方々が集い、医療の安全を守る交流の場として大会が盛り上がることを祈念する。

学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々な複雑な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・代議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

(対象者)

医療従事者、統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、医療クライシスマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、その他医療職の方、医療系の学生。

参加費

参加費には抄録集は含まれません。	日本医療安全学会の会員	学部生	その他
事前申込参加費（～2月10日。非課税。懇親会費別）	9千円	4千円	1万2千円
当日申込参加費（非課税。懇親会費別）	1万1千円	8千円	1万4千円
印刷抄録集（税込み）	3千円	3千円	3千円
懇親会（3月5日午後6時～8時、税込）	5千円	5千円	5千円

事前申込振込先 銀行支店名: みずほ銀行 本郷支店
口座番号: 普通 4018879
ダイ 3 カイ JPSCS ソウカイ
口座名義: 第3回 JPSCS 総会

大学院生は一般扱いです。

事前申込者には電子メールにて抄録集をお届けしますが、印刷抄録集を購入希望の際には当日受付でも会計いただけます。

(ご注意) キャンセルの際、参加費は返却されません。

代わりの方が参加できますので、申込者が捺印した変更届を当日にご持参ください。(様式は任意)

(懇親会)

日時: 2017年3月18日(土)午後6時30分～8時30分
会場: 東京大学伊藤国際学術センター地上2階ファカルティークラブ
参加費: 5千円

運営組織

- 総会長** 許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター・センター長、元東大病院教授(重症心不全治療))
山根 隆志 (神戸大学工学部機械工学系教授)
辰巳 陽一 (近畿大学附属病院医療安全管理部教授)
- 副総会長** 清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、東大病院前副薬剤部長)
新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)
- 統括** 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

プログラム委員会

(医科医療安全分野)

秋野 裕信、大城 孟、海渡 健、大徳 和之、大野 和子、金淵一雄、楠本 茂雅、小林 肇、佐和 貞治、
東條 有伸、長尾 能雅、中島 勸、長村 文孝、辰巳 陽一、手塚 則明、鳥谷部 真一、長谷川 奉延、
廣井 透雄、星 真哉、細野 治、松村 由美、水本 一弘、三井 良之、宮崎 浩彰、宮田 哲郎、
山本 直人、安田 あゆ子

(臨床医学安全分野)

居石 克夫、池田 洋、太田 美智男、小野 稔、甲斐 久史、河田 健司、黒田 誠、坂井 信幸、
佐々木 毅、杉原 正子、高井 雄二郎、富永 英一郎、永山 正雄、深山 正久、福田 幾夫、
粉川 敦史、矢形 寛、吉村 泰典

(歯科医療安全分野)

大渡 凡人、萩原 芳幸、佐藤 慶太、酒巻 裕之、塩田 真、白川 哲夫、深山 治久、升谷 滋行、
宮本 智行

(看護安全分野)

金子 恵美子、衣川 さえ子、新村 美佐香、土屋 和子、西隈 菜穂子、藤井 千枝子、三上 久美子

(医薬品安全分野)

伊藤 裕康、佐藤 光利、坂口 眞弓、下堂 蘭 権洋、清野 敏一、橋田 亨、本多 秀俊

(医療機器安全)

青木 郁香、石井 宣大、許 俊鋭、酒井 基広、鈴木 聡、高倉 照彦、田仲 浩平、山根 隆志、
真下 泰、増田 豊

(その他の関連分野)

荒木 登茂子、出江 紳一、井上 清成、大滝 恭弘、岡田 有策、勝村 久司、北野 達也、
木下 正一郎、小松原 明哲、鈴木 聡、瀧本 禎之、田邊 昇、野坂 佳生、旗手 俊彦、藤本 隆宏
目黒 公朗、森川 博之

報道機関、出版社の取材記者の方へ

参加費は無料で、事前申し込みは一切不要です。事前の問い合わせは不要です。

取材記者の方は全員とも当日受付にて名刺をお渡しください。

記者であることがわかるよう、黄色の腕章を持参して、左上腕に常時つけてください。

プログラム(電子版)をお知らせしますので、携帯端末(スマートフォンなど)を持参してください。
印抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3千円にて当日購入いただけます。

本学術総会の開催について貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

協賛企業などの一覧

本学術総会の開催に際して、協賛いただき厚く感謝申し上げます。

アイ・エム・アイ株式会社

アルケア株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

キャピタルメディカ株式会社

株式会社共和

ジェイ・エム・エス株式会社

武田薬品工業株式会社

株式会社トーヨ

ニプロ株式会社

ワールドビジネスセンター

その他

展示企業の方へ

(展示場所)

法文1号館1階ロビーならびに2階ロビーです。

各企業の展示は学会から指定された場所を使用してください。配置表を別送します。

(展示時間) 8:00-17:00

資材の事前搬入が可能です: 3月17日(金)16:00-17:00

(タクシーでの搬入の方法)

東大本郷キャンパス正門で下車、徒歩5分

(自家用車での搬入の方法)

東大構内へは竜岡門からお入りください。

竜岡門からの広い道路を直進→

道路右側の東大病院前をさらに直進→

バスロータリーを直進すると、駐車ゲートがある→

ゲートを通過後、道が左に曲がる→

曲がり終えて、上り坂を直進し、坂を登りきり停車。→

左側の建物が法文1号館。

東大構内では無料駐車場はありません。

30分まで無料・以降 200円/20分、24時間ごと最大 3,000円。費用は自費負担。

(貸出物) 以下のみです。

テーブル(幅 1800mm×奥行 900mm) 1台、椅子 1脚

電源: 壁コンセントがあります。上記の配置表に明記します。

利用される場合は10メートル電源コード延長電源コードと電源タップを持参してください。

その他(バックパネル等)はご自身ご用意してください。

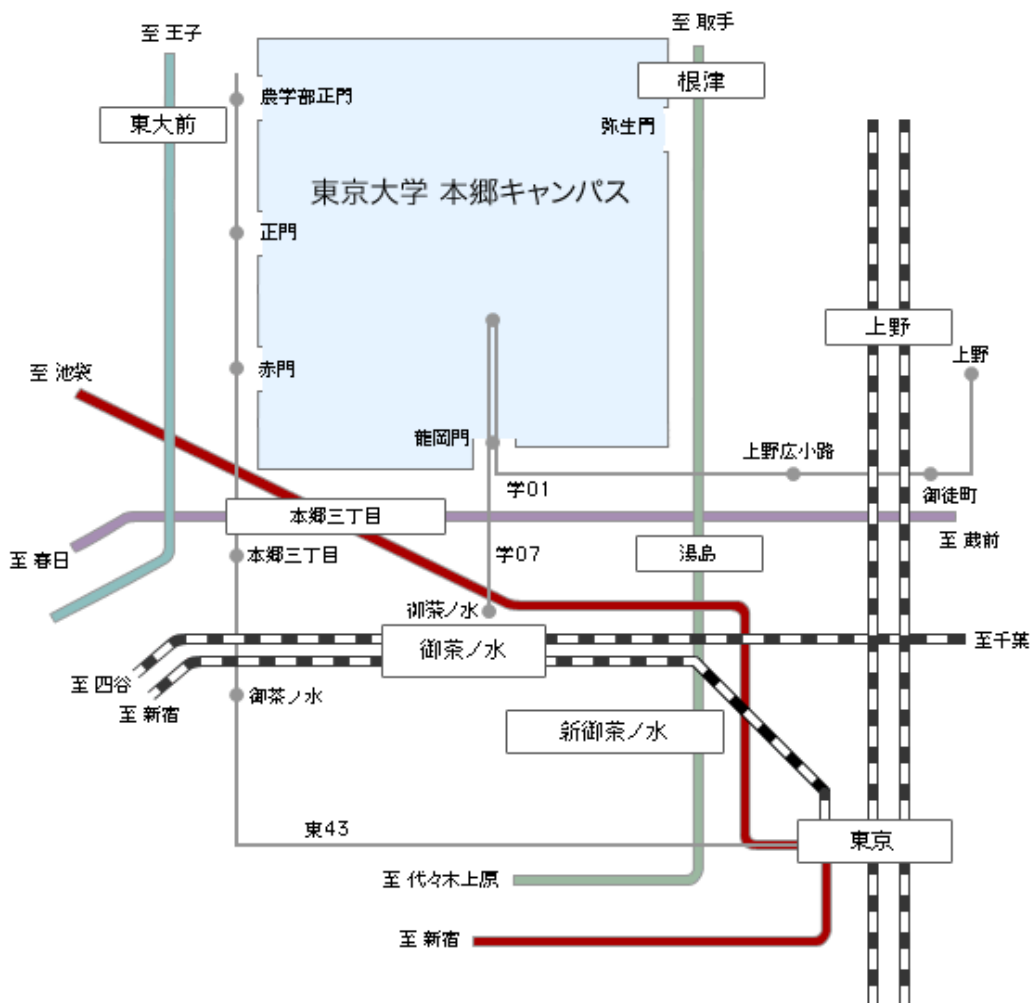
(昼食)

徒歩1分にある安田講堂前広場の地下に学食と生協があります。費用は自費負担。

(インターネット)

会場にはWIFI装置はありません。

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10分

会場案内

(3月18日(土))

第1会場	法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示、
第2会場	法文1号館2階	ロビー	: 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂	: 口演、理事会
第4会場	法文1号館2階	25番講堂	: 口演、代議員会
第5会場	法文1号館3階	26番講堂	: 口演
第6会場	法文1号館3階	27番講堂	: 口演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂	: 口演
第8会場	法文2号館2階	ロビー	: ポスター発表
第9会場	伊藤国際学術センター2階ファカルティークラブ: 懇親会		
第11会場	医学部1号館1階	小講義室	: 自由集会室(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階	大講義室	: 自由集会室(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階	小講義室	: 発表者控え室(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階	大講義室	: 談話室(自由にご利用ください)

(3月19日(日))

第1会場	法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示
第2会場	法文1号館2階	ロビー	: 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂	: 口演
第4会場	法文1号館2階	25番講堂	: 口演
第5会場	法文1号館3階	26番講堂	: 口演
第6会場	法文1号館3階	27番講堂	: 口演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂	: 口演
第8会場	法文2号館2階	ロビー	: ポスター発表
第10会場	法文1号館1階	22番講堂	: 口演
第11会場	医学部1号館1階	小講義室	: 自由集会室(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階	大講義室	: 自由集会室(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階	小講義室	: 発表者控え室(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階	大講義室	: 談話室(自由にご利用ください)

受付開始: 両日とも午前8時。

会場ではインターネットのWIFI装置がございません。

一般演題(口演)は1題10分(質疑時間を含む)

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯にポスター会場(第8会場)で質疑応答をしてください。

一般演題から審査専攻される「医療安全賞」の賞状は、会議後2-3か月後にお知らせします。

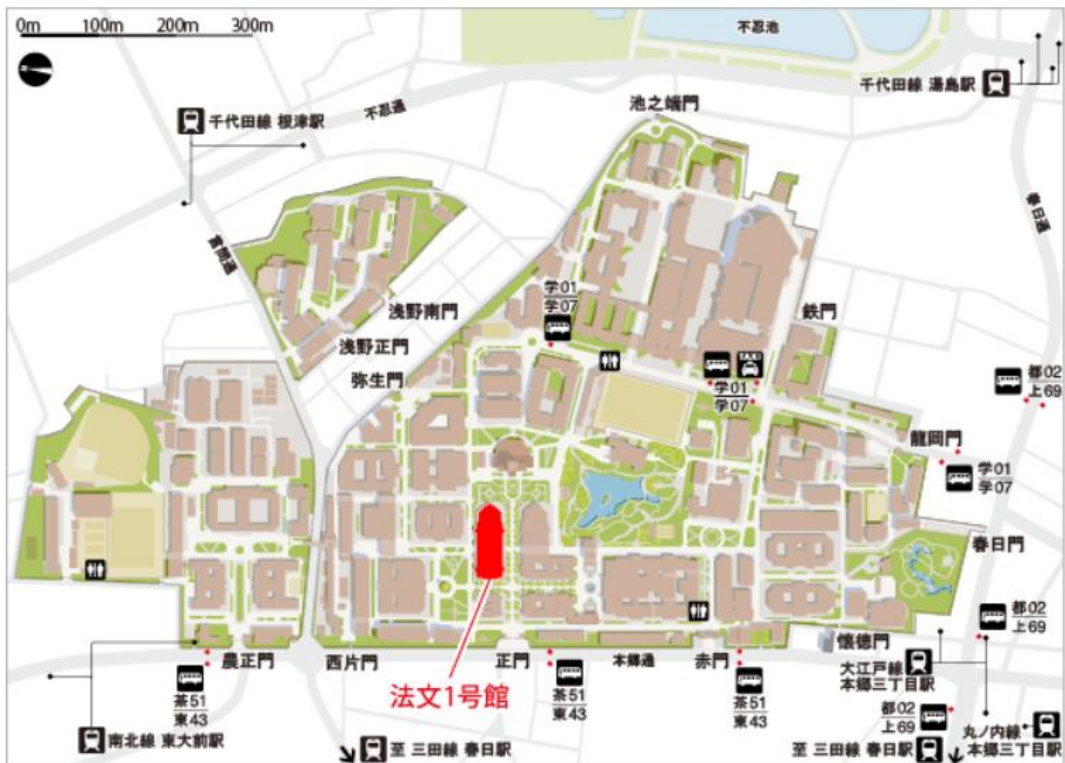
理事会: 2017年3月18日(土)午前8時20分～8時50分
(第3会場)東京大学法文1号館1階21番講堂、東大正門入る
登記済みの理事が参加できます。

代議員大会: 2017年3月18日(土)11:40-12:10
(第4会場)東京大学法文1号館2階25番講堂、東大正門入る
代議員大会へは理事の先生もご参加をお願いします。

懇親会: 2017年3月18日(土)18:30～20:30
(第9会場)東京大学伊藤国際学術センター2階ファカルティークラブ、東大赤門付近

会場地図

建物内部での飲食・喫煙禁止



(飲食について)

東大安田講堂地下食堂。… 法文1号館/2号館から徒歩2分



東大病院入院A棟にはいくつかのレストランがあります。

学内レストラン地図 <http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/restaurantmap.pdf>

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後楽園の東京ドームシティーにもたくさんのレストランがあります。(タクシー5分、徒歩15分)

会場での飲食は一切禁止されています。

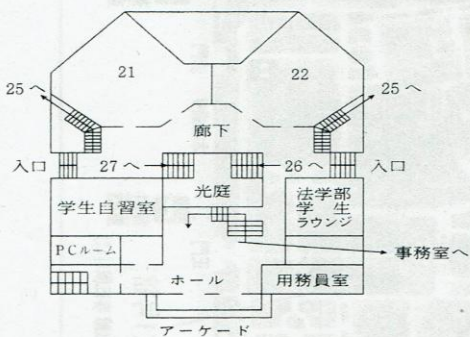
会場見取り図

建物内部での飲食・喫煙禁止

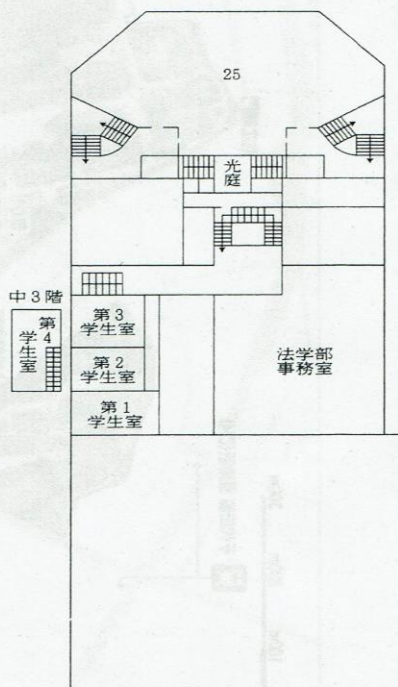
法学部教室案内

法文1号館

1階



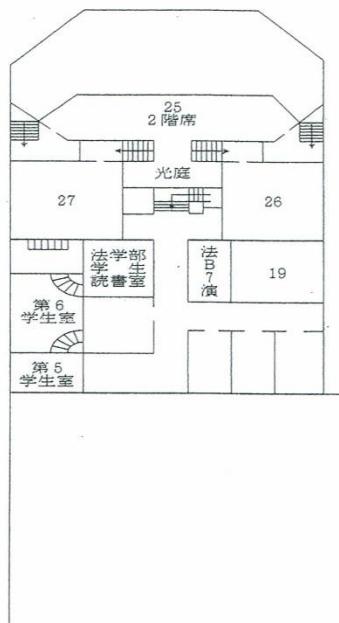
2階



建物内部での飲食・喫煙禁止

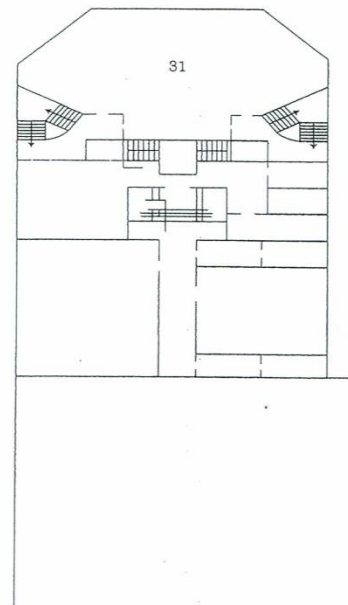
法文1号館

3階



法文2号館

2階

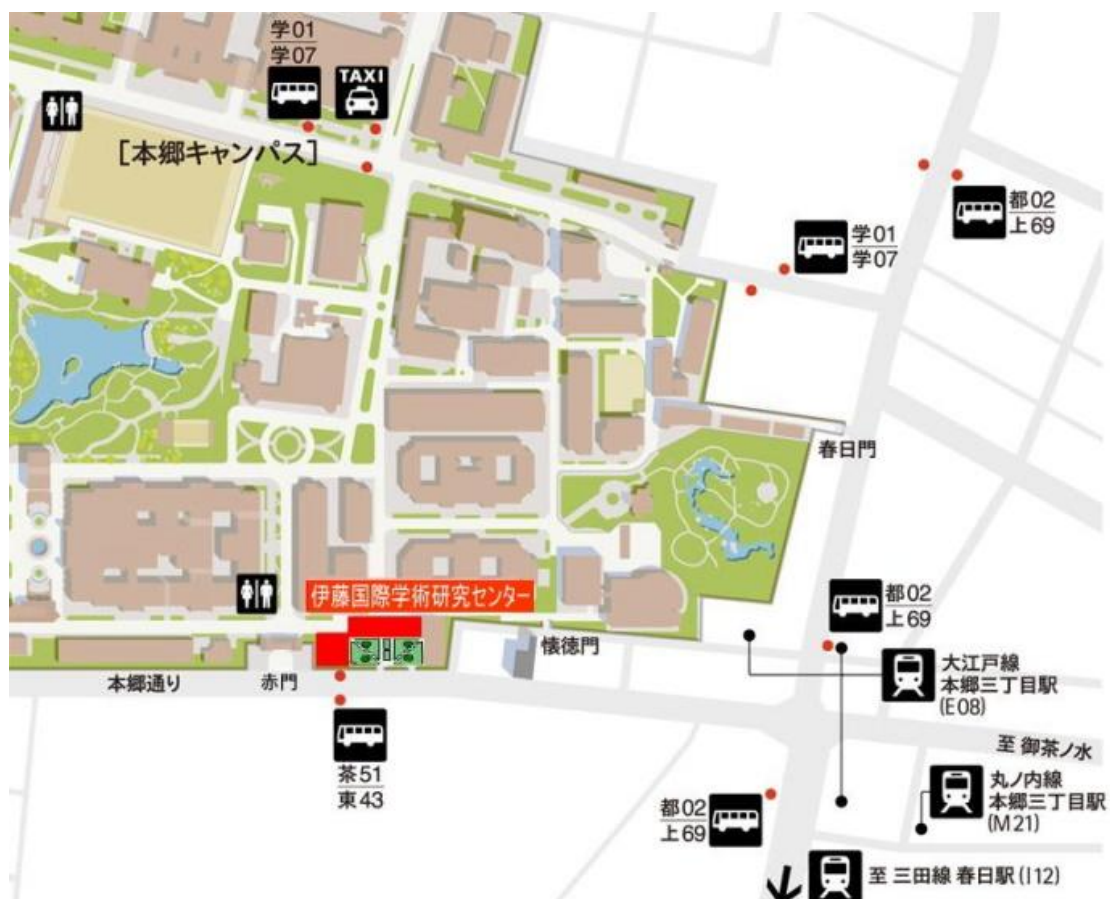


懇親会の場所

伊藤国際学術研究センター

(3月18日懇親会)

建物内部での飲食・喫煙禁止



予備の会議室

談話、口演準備、会合等にご利用ください。総会参加者へ無料にて解放します。予約不要。

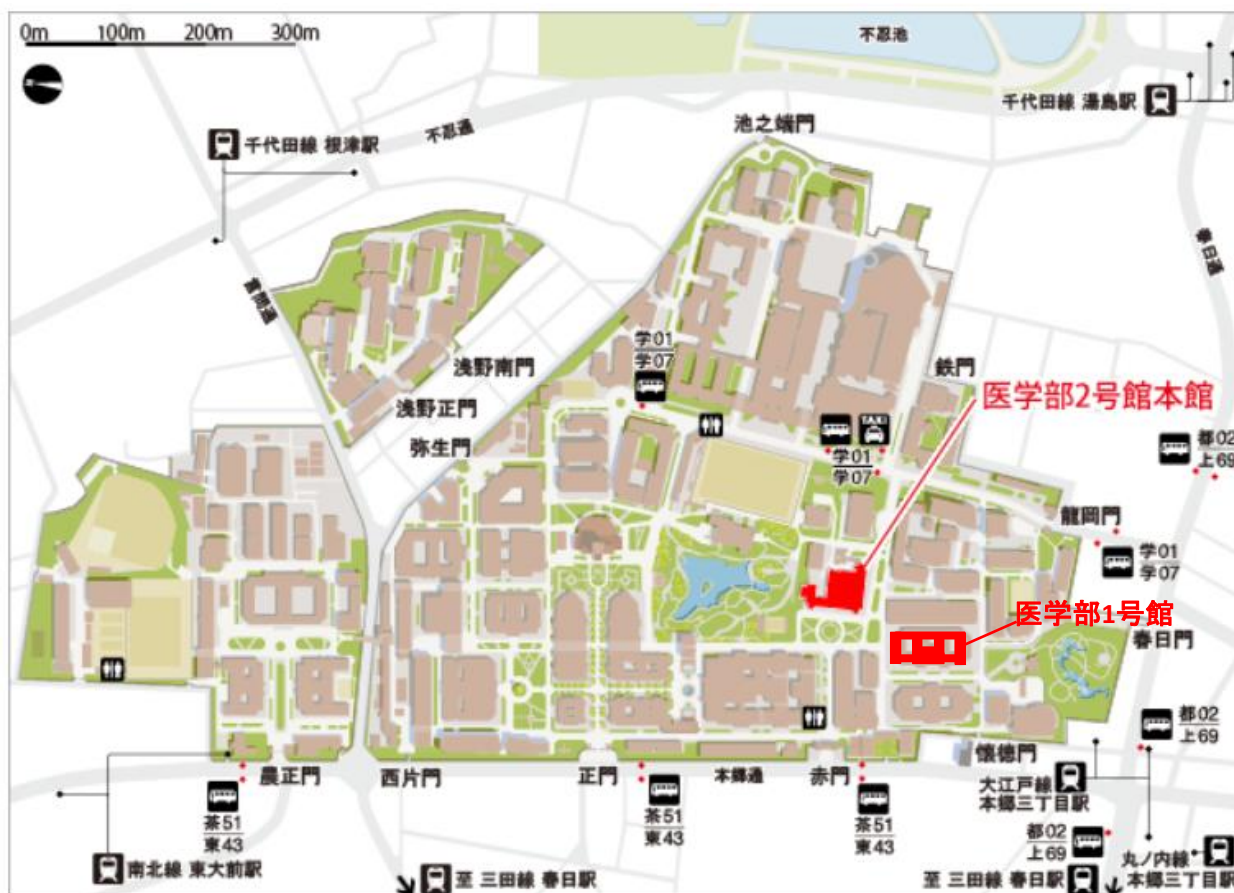
利用時間: 両日とも 9:00-17:00

場所: 医学部1号館1階小講義室 (自由集会用)
医学部1号館3階大講義室 (自由集会用)
医学部2号館本館1階小講義室 (発表者控え室)
医学部2号館本館3階大講義室 (談話室)

※ 法文講堂から徒歩5分程度です。

1号館の利用者は当日受付にて利用を事前に申し出てください。

上記の時間帯には開錠していますが、これらスペースには係員はいません。マイク・スクリーン使用の場合は、これらの資材は設置してありますので、ご自身で設置してください。(自主運営)
建物内部での飲食・喫煙禁止。



座長・座長・発表者の皆様へ

(座長・司会の先生方へ)

ご担当のセッションの開催会場へ、セッション開始時間の30分前までにご入場ください。

(口演の方法)

発表者は講演時間の30分前までに、各講演会場にご入室ください。

PC(Windows10ないしWindows7)一台をご利用できます。

(マッキントッシュPCをご持参の場合: モニターとの接続ケーブルをご持参ください。)

パワーポイント用データ保管のUSBメモリーをご持参ください。USBメモリーをご自身でPCに装着したのち、ご自身でご操作ください。リモコン操作器具を用意いたします。

一般演題(口演)は1題10分(質疑時間2分を含む)です。

(ポスター発表の方法)

場所: (第8会場) 東京大学法文2号館2階ロビー

(ポスター掲示時間帯)

午前の部 10:00-13:00

午後の部 13:30-16:30

(ポスターでの発表者による説明時間)

午前の部 11:30-12:30

午後の部 15:30-16:30

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯に当該ポスター前にて質疑応答ください。

ポスター掲示板に演題番号を掲示しますので、当該番号のポスター板面をご使用ください。

掲示板に掲載可能なポスターはA1版縦長置き、縦列二枚までです。

用紙内の最上部にタイトルと発表者一覧を明記ください。

ポスター掲示用のスコッチテープをご持参ください。

ポスター掲示終了後、ポスターをすみやかに持ち帰りください。掲示終了以降の掲示物は廃却します。

【日程】

一般演題以外のセッションは、シンポジウムまたはパネル討論会です。

	18日午前	18日午後	19日午前	19日午後
(第1会場) 法文1号館1階 ロビー	受付/企業展示	受付/企業展示	受付/企業展示	受付/企業展示
(第2会場) 法文1号館2階 ロビー	企業展示	企業展示	企業展示	企業展示
(第3会場) 法文1号館1階 21番講堂	(パネル)マネジメント / (パネル)アセスメント	(パネル)マネジメント / (パネル)コミュニケーション	(パネル)ガバナンス	(パネル)ガバナンス / (パネル)コミュニケーション
(第4会場) 法文1号館2階 25番講堂	会長講演/特別講演/招聘講演	招聘講演/シンポジウム	会長講演/(パネル)アセスメント/教育講演	特別講演/シンポジウム / (パネル)アセスメント
(第5会場) 法文1号館3階 26番講堂	臨床医学安全	(パネル)医薬品安全 / (パネル)アセスメント	(パネル)医療機器安全	(パネル)マネジメント
(第6会場) 法文2号館2階 31番講堂	(パネル)ガバナンス	(パネル)看護安全 / (パネル)アセスメント	(パネル)看護安全	(パネル)マネジメント / (パネル) 医薬品
(第7会場) 法文1号館3階 27番講堂	一般演題(口演)	一般演題(口演)	一般演題(口演)	一般演題(口演)
(第8会場) 法文2号館2階 ロビー	一般演題(ポスター)	一般演題(ポスター)	一般演題(ポスター)	一般演題(ポスター)
(第9会場) 伊藤国際学術センター2階	×	18:30- 懇親会	×	×
(第10会場) 法文1号館1階 22番講堂	×	×	(パネル)アセスメント	(パネル)マネジメント
(第11会場) 医学部1号館1階小講義室	自由集会	自由集会	自由集会	自由集会
(第12会場) 医学部1号館1階大講義室	自由集会	自由集会	自由集会	自由集会
(第13会場) 医学部2号館1階小講義室	発表者控え	発表者控え	発表者控え	発表者控え
(第14会場) 医学部2号館1階大講義室	談話室	談話室	談話室	談話室

医療安全活動の基本フレーム (H-Rモデル by 酒井 2015)

(事故の事前予防)

(事故後の危機予防)

1) アセスメント (評価: 定性分析、定量分析)	臨床リスクアセスメント	臨床クライシスアセスメント (事故調査、RCA)
2) マネージメント (管理)	臨床リスクマネージメント	臨床クライシスマネージメント
3) コミュニケーション	臨床リスクコミュニケーション	臨床クライシスコミュニケーション
4) ガバナンス (組織対応)	臨床リスクガバナンス	臨床クライシスガバナンス

(プログラム概要)

会長講演	: 3題	招聘講演	: 3題
教育講演	: 1題	特別講演	: 3題
シンポジウム	: 3セッション	パネル討論会	: 32セッション
一般演題(口演・ポスター)		企業展示	

学術発表プログラム

2017年3月18日(土)～19日(日) 東京大学本郷キャンパス

受付開始: 両日とも午前8時、第1会場(法文1号館1階ロビー)。

開演 : 両日とも午前9時

以下において◎付きのテーマは統括医療安全管理者向けプログラムですが、その他の方もご参加いただけます。

(第1日目プログラム)

2017年3月18日(土)

受付: 8時～18時、法文1号館1階ロビー

会場:

第1会場	法文1号館1階	ロビー	:	受付、企業展示、
第2会場	法文1号館2階	ロビー	:	企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂	:	口演、理事会
第4会場	法文1号館2階	25番講堂	:	口演、代議員大会
第5会場	法文1号館3階	26番講堂	:	口演
第6会場	法文2号館2階	31番講堂	:	口演
第7会場	法文1号館3階	27番講堂	:	一般演題(口演)
第8会場	法文2号館2階	ロビー	:	一般演題(ポスター)
第9会場	伊藤国際学術センター2階ファカルティークラブ: 懇親会			
第11会場	医学部1号館1階	小講義室	:	自由集会(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階	大講義室	:	自由集会(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階	小講義室	:	発表者控え室(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階	大講義室	:	談話室(自由にご利用ください)

**(第4会場) 2017年3月18日(土)午前
東京大学法文1号館2階25番講堂**

PL01: 総会共同会長 講演 (その1)

座長: 長谷川 奉延 (慶應義塾大学)

9:00-9:30

許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センターセンター長、元東大病院教授(重症心不全治療))

9:30-10:00

山根 隆志 (神戸大学工学部機械工学系教授)

SL01: 特別講演 (1)

座長: 藤井 千枝子 (慶應義塾大学)

10:00-10:50

テーマ: 歯科医療安全と医科医療安全の連携の現状と未来

深山 治久 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻酔・生体管理学分野教授)

IL01: 医療系団体の招聘講演 (1)

座長: 長尾 能雅 (名古屋大学)、海渡 健 (東京慈恵会医科大学)

10:50-11:40

テーマ: 院内事故調査の標準的調査の方法について

--- 日本医師会(医療事故調査等支援団体)の立場から ～日本医師会長の推薦講演

上野 道雄、福岡東医療センター院長、福岡県医師会副会長

日本医師会医療安全対策委員会副委員長

11:40-12:10 **代議員大会**

**(第4会場) 2017年3月18日(土)午後
東京大学法文1号館2階25番講堂**

IL02: 医療系団体の招聘講演 (2)

座長 清野 敏一 (帝京平成大学中野キャンパス薬学部教授、前東大病院副薬剤部長)

13:00-13:45

テーマ: PMDAにおける医薬品・医療機器安全の最新情報

齋藤 綾子、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 安全第一部医療機器安全課調査専門員

13:45-14:30

テーマ: PMDAで収集された副作用に関する最新情報

鷹見 明奈、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 安全第二部調査専門員

SP01: ビジョン・シンポジウム

◎14:30-16:00

テーマ: 完全に安全な世界への将来戦略

座長: 許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センターセンター長、元東大病院教授(重症心不全治療))

シンポジスト

病院長の立場から:

許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センターセンター長、元東大病院教授(重症心不全治療))

臨床医の立場から: 大城 孟 (おおしろクリニック院長)

患者の立場から: 勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

ヒューマンファクターの立場から:

岡田 有策 (慶應義塾大学理工学部管理工学科ヒューマンファクター研究室教授)

総合討論

SP02: シンポジウム (1)

◎16:00-17:30

テーマ: 医療機関とメディアとのコミュニケーション

座長 松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長、教授)

シンポジスト

松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長、教授)、

勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

指定発言

永井 裕之 (東京都立広尾病院事件被害者遺族、

患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表世話人)

総合討論

**(第3会場) 2017年3月18日(土)午前
東京大学法文1号館1階21番講堂**

8:20-8:50 **定例理事会**

医療安全リスク・マネジメントパネル:

9:30-11:00

PN01: テーマ: 病院情報システム(HIS)と集中治療領域などの部門システムの電子情報の共有の課題
(オルガナイザー) 松村 由美、京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長、教授

口演タイトル: 「未定」

佐和 貞治、京都府立医科大学 医療安全管理部、手術部、麻酔科 教授

医療情報システムおよびモダリティ連携の課題(クリニックから)

小林 肇、東京フェリシアレディースクリニック 院長

病院情報システムインターフェースを標準化することでエラーを低減することができるか

松村 由美、京都大学医学部附属病院 医療安全管理室 教授

総合討論

医療安全クライシス・アセスメントパネル:

11:00-12:00

◎PN02: テーマ: 医療事故調査制度の現状

(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学附属病院医療安全管理部教授

医療事故調査制度の現状

勝村 久司、患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

医療事故調査制度の現状

浅岡 峰雄、岡崎市民病院 医療安全管理室

医療事故調査制度の抱える本質的な問題点について

長谷部圭司、北浜法律事務所・外国法共同事業

総合討論

**(第3会場) 2017年3月18日(土)午後 その1
東京大学法文1号館1階21番講堂**

医療安全リスク・マネジメントパネル:

13:00-14:00

PN03: テーマ: **医療安全管理者の在り方**

(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学付属病院医療安全管理部教授

医療安全管理者研修に関する実態調査にみる Non-Technical Skills 強化の重要性

北野 達也、星城大学 経営学部 健康マネジメント系

医療マネジメントコース主任・専攻長 教授

医療安全における責めないことの意味

辰巳 陽一、近畿大学医学部附属病院安全管理部教授

医療安全管理者の役割と実践

荒井 有美、北里大学病院 医療の質・安全推進室 副室長 医療安全管理者

総合討論

医療安全リスク/クライシス・コミュニケーションパネル:

14:00-15:30

PN04: テーマ: **医療安全部門と患者相談部門の連携**

(オルガナイザー) 長谷川奉延、慶應義塾大学病院副院長、教授、
医療安全対策センター・センター長

患者相談窓口の在り方 -東邦大学医療センター大森病院では-

廣井 直樹、東邦大学医療センター大森病院 総合相談部 部長

医療安全部門と患者相談部門の情報共有 -筑波大学附属病院の体制 -

平井 理心、筑波大学附属病院 患者サービス課

医療安全と患者相談 -相談窓口記録のトリアージを通じて-

吉尾 めぐみ、慶應義塾大学病院 医療安全対策センター

安全管理者の立場から患者相談部門に関与する -都立大塚病院の現状と課題 -

末吉 美花、都立大塚病院 医療安全対策室 専従リスクマネジャー

患者相談から安全な医療を提供する他職種連携へ -ERアフターコールを通して-

吉田 和子、武蔵野徳洲会病院 医療安全管理室 医療安全管理者

総合討論

(第3会場) 2017年3月18日(土)午後 その2 東京大学法文1号館1階21番講堂

医療安全リスク・ガバナンスパネル:

15:30-16:30

◎PN05: テーマ: 医療安全文化の地域現場への浸透 会長提案

(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学附属病院医療安全管理部教授

南大阪医療安全ネットワークの展開

辰巳陽一、近畿大学医学部附属病院安全管理部

藤田あんしんネットワークの目指すもの

安田あゆ子、藤田保健衛生大学病院 医療の質・安全対策部 医療の質管理室 病院教授

南信州医療安全ネットワークの実情

川上善久、飯田市立病院 医療安全部 医療安全管理室長 医療安全管理者

総合討論

医療安全リスク・コミュニケーションパネル:

16:30-17:30

PN06: テーマ: TeamSTEPPSの現場活用 会長提案

(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学附属病院医療安全管理部教授

医療安全とコミュニケーション及び相互連携に関する実証研究

峰滝 和典、近畿大学医学部・経営学部 教授

部署毎の推進メンバーを中心とした部署主体のTeamSTEPPSの活用

海渡 健、東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部 教授

全部署間相互スライドピアレビュー方式を用いた、TeamSTEPPSの現場浸透の試み

辰巳陽一、近畿大学医学部附属病院安全管理部 教授

総合討論

(第5会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文1号館3階26講堂

臨床医学安全分野パネル:

10:00-12:00

PN07: テーマ: 医療機関におけるラテックスフリー・パウダーフリーの現状と展望
ー2020年 東京オリンピックに向けて医療機関での実装を目指すー
(オルガナイザー) 佐々木毅、東京大学医学部人体病理学病理診断学分野准教授

- ① 医療現場におけるラテックスアレルギーの危険性 ～臨床の立場から
藤田保健大学坂文種報徳會病院 総合アレルギー科教授 矢上 晶子
- ② ラテックスフリー化取り組みにおける課題と展望 ～看護師の立場から
昭和大学横浜市北部病院 看護部 師長 (日本手術看護学会 理事長) 石橋 まゆみ
- ③ 手術用手袋の現場における課題 (パウダー, 2重手袋, コスト) ～外科医の立場から
関西電力病院 緩和医療科 部長 加藤 恭郎
- ④ 手術用手袋の啓発活動と課題 ～企業の立場から
株式会社 アンセル・ヘルスケア・ジャパン クリニカルサポート 山田 砂矢子
- ⑤ 特別発言
厚生労働省 保険局医療課 大島 和輝
- ⑥ 特別発言
参議院議員 参議院法務委員長 秋野 公造

総合討論

医療安全クライシス・アセスメントパネル:

13:00-14:30

◎PN08: テーマ: 患者と医療者のための『医療事故調査の在り方』

(オルガナイザー) 勝村 久司、日本医療安全学会理事
(座長): 木下 正一郎 (弁護士、医療問題弁護団副幹事長、医療版事故調推進フォーラム 事務局長)

群馬大学附属病院の医療事故調査のポイント

勝村 久司、群馬大学附属病院医療事故調査委員、厚生労働省医療安全対策検討WG委員
医療事故調査支援センターのあり方について

永井 裕之、東京都立広尾病院事件被害者遺族、
患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表世話人)

患者が求める医療事故調査制度

木下 正一郎、弁護士、医療問題弁護団副幹事長、医療版事故調推進フォーラム 事務局長
産科医療補償制度の原因分析の在り方について

松井 菜採、弁護士、産科医療補償制度原因分析委員

ディスカッション

座長: 木下 正一郎、弁護士、医療問題弁護団副幹事長

(第5会場) 2017年3月18日(土)

東京大学法文1号館3階26講堂

医薬品安全分野パネル:

14:30-15:40

PN09: テーマ: 医薬品安全を考慮した皮膚外用剤の適正使用

(オーガナイザー) 大谷 道輝、東京通信病院薬剤部 副薬剤部長
清野 敏一、帝京平成大学薬学部 教授

皮膚外用製剤における先発品と後発品との添加物の違いについて

山本 佳久、帝京平成大学薬学部 准教授

外用剤の混合における問題点

大谷 道輝、東京通信病院薬剤部 副薬剤部長

経皮吸収型製剤の使用における問題と対策

内野 智信、静岡県立大学薬学部 講師

総合討論

15:40-16:50

PN10: テーマ: 睡眠薬の適正使用と転倒予防策-各施設の試み

(オーガナイザー) 大谷 道輝、東京通信病院薬剤部 副薬剤部長
清野 敏一、帝京平成大学薬学部 教授

薬剤師の立場から-東京通信病院の試み

大谷 道輝、東京通信病院薬剤部 副薬剤部長

薬剤師の立場から-松山市民病院の試み

小田 真司、松山市民病院薬剤部

看護師の立場から-聖隷三方原病院の試み

佐藤 晶子、聖隷三方原病院看護部

総合討論

16:50-18:00

PN11: テーマ: 緩和医療における医療安全への貢献

(オーガナイザー) 大谷 道輝、東京通信病院薬剤部 副薬剤部長
清野 敏一、帝京平成大学薬学部 教授

緩和領域で使用される医薬品の安全使用-薬剤師の立場から

百 賢二、帝京平成大学薬学部准教授(元筑波大学附属病院薬剤部) がん専門薬剤師

緩和領域で注意すべきポイント-看護師の立場から

風間 郁子、筑波大学附属病院 緩和ケアセンター

緩和ケアを安全に提供するための工夫 -医師の立場から

浜野 淳、筑波大学附属病院 緩和ケアセンター

総合討論

(第6会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文2号館31番講堂

医療安全リスク・ガバナンスパネル:

10:00-12:00

PN12: テーマ: 地域における安心・安全な医療の実践と課題

(オルガナイザー) 佐藤 光利、明治薬科大学薬学教育研究センター医薬品安全性学研究室教授

岡田賢二、横浜薬科大学 実務実習センター講師

医療連携における安全管理上の問題点

高田 伸夫、東邦大学医療センター佐倉病院医療安全管理副室長

地域連携における病院薬剤師の役割 - 課題と実際 -

生島 五郎、松戸市立病院 薬局長 医薬品安全管理責任者

地域連携における開局薬剤師の役割 - 実践と課題 -

大木 一正、東京都薬剤師会副会長

総合討論

看護安全分野パネル:

13:00-14:30

PN13: テーマ: 医療安全と看護倫理教育

(オルガナイザー) 土屋 和子、久里浜クリニック 医療安全課長

医療安全と倫理

藤井 千枝子、慶應義塾大学看護医療学部

当院における臨床倫理教育と臨床倫理的問題への対処に関する取り組みについて

馬場 葉子、独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院

外来クリニックにおける看護倫理教育

土屋 和子、久里浜クリニック

総合討論

14:30-15:30:

PN14: テーマ: 中間管理者に対する医療安全教育の必要性

(オルガナイザー) 新村 美佐香、医療法人五星会菊名記念病院 医療安全室長

パネリスト: 峰村尚子 (太田総合病院 医療安全管理部)

堀田まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 医療安全対策室)

新村美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室室長)

総合討論

(第6会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文2号館31番講堂

医療安全リスク・アセスメントパネル:

15:30-17:00

PN15: テーマ: 医療安全管理者の抱える問題とメンタルヘルス

(オルガナイザー) 新村 美佐香、医療法人五星会菊名記念病院 医療安全室長

パネリスト: 大坪まゆ美 (成田富里徳洲会病院 医療安全管理室室長)

金子恵美子 (東京女子医科大学東医療センター 医療安全対策部)

新村美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室室長)

総合討論

17:00-18:00

PN16: テーマ: 中小規模病院の医療安全管理者の現状と課題

(オルガナイザー) 土屋 和子、久里浜クリニック 医療安全課長

他部門との連携による安全文化の醸成

佐藤みさえ、善仁会グループ 看護本部 兼 施設監査部 次長

外来通院透析施設での安全管理者の現状と課題

土屋 和子、基金拠出型医療法人 眞仁会 久里浜クリニック

中小規模病院の医療安全管理者の現状と課題

新村 美佐香、医療法人五星会 菊名記念病院

総合討論

(第7会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

10:30-11:20 **医療安全リスクアセスメント・セッション(一般演題・口演)**

座長: 宮本 智行 (東京医科歯科大学)

- NA057 モデル病棟を用いたインシデント報告増加の取組み
○平田 修司、鈴木 章司、蓮沼 千津子、伊藤 雅美
山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理室
- NA076 医師のインシデントレポートを増やすためには
田中 江里、 湘南鎌倉総合病院 医療安全管理室
- NA098 小児医療専門施設での患者誤認の発生要因解析と対策
中舘 尚也、金子 剛、宇田川 恵理子、賀籐 均、
国立成育医療研究センター 医療安全管理室
- NA020 「より良い医療サービスを提供するための点滴混注作業の検討」
～誰にでもできる点滴の混注作業を目指して～
今井 賢司、 IMSグループ本部事務局看護部
- NA047 ポジティブインシデントコメント内容の検討
○西川 三恵子、島元 健次、加戸 聖美、辰巳 陽一
近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室

13:00-13:30 **医療安全クラスシスアセスメント・セッション (一般演題・口演)**

座長: 大徳和之 (弘前大学)

- NA074 医療事故調査制度開始以後の一年間の当院における全死亡症例の検討
田上 鑛一郎 1)、吉田 昌弘 2)、杉本 明子 3)、 愛知県厚生連渥美病院 医療安全管理室
- NA016 入院死亡例調査の重要性
平井 収、 神鋼記念病院医療安全管理室
- NA065 入院中にとろみ剤を異食し窒息した1例
上野 尚、 宇部協立病院

13:30-14:00 **医療安全リスクマネージメント・セッション (一般演題・口演)**

座長: 大徳和之 (弘前大学)

- NA028 医療安全教育を点ではなく、面で考える
上中 香代子、 産業医科大学病院 医療安全管理部
- NA044 中央放射線部内における医療安全ポスター作成掲示について
増田 豊、 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 中央放射線部 リスクマネージャー
- NA052 医師のみなさん、6Rってなんですか？
種井 隆文、 名古屋セントラル病院 脳神経外科

(第7会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

14:00-14:10 医療安全クラスシスマネージメント・セッション (一般演題・口演)

座長: 富永 英一郎 (慶應義塾大学)

- NA005 合併症報告制度の導入一院内ルール周知・運用のための工夫
近本 亮、 熊本大学医学部附属病院医療安全管理部

14:10-15:20 医療安全リスクコミュニケーション・セッション (一般演題・口演)

座長: 富永 英一郎 (慶應義塾大学)

- NA017 チーム STEPPS を利用した緊急コール検証
上村 千馨子 佐伯 公亮 池田 智之 石上 毅、 彦根市立病院 医療安全推進室
- NA024 看護部と協働した TeamSTEPPS 推進への取り組み: 「SBAR」 を活用した医療機器点検依頼票の導入
市川 善浩 1 川尻 将守 1 高橋 光太 1 角田 裕 1 佐々木 雄一 1 岩谷 理恵子 1
平塚 明倫 1 海渡 健 2
東京慈恵会医科大学附属病院 1 東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部 2
- NA040 学生を対象にした TeamSTEPPS 推進の取り組み: チームトレーニングの実践
堀川 麻衣子 遠藤 友哉 川尻 将守 岩谷 理恵子 平塚 明倫 海渡 健
東京慈恵医大附属病院臨床工学部 東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部
- NA075 医療安全とコミュニケーション及び相互連携に関する実証研究
辰巳 陽一・峰滝 和典、 近畿大学医学部・経営学部
- NA094 中央検査部における TeamSTEPPS を活用した基本的安全確認行為の習慣化
吉見 珠美、高松 久美子、小林 清、池田 勇一、海渡 健、上村 朋子、
吉田 美雪、本間 隆志、中村 憲子
東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部
- NA067 コミュニケーションツール「SBAR」定着の実態調査
手塚朋子 河野由江 佐藤晃子 舟橋智子 野沢三枝子 鈴木佳世子 秋元ますえ
独協医科大学病院 リスクマネージャー委員会
- NA084 自動車運転に支障のある医薬品の規制ーリスクコミュニケーションの視点から
福田 八寿絵、 帝京大学医療共通教育研究センター

(第7会場) 2017年3月18日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

15:20-15:50 **医療安全クライシスコミュニケーション・セッション (一般演題・口演)**

座長: 衣川 さえ子 (国際医療福祉大科学)

- NA081 愛知県医療安全支援センターにおける相談の現状と課題
見崎知子、松井純子、磯野貴都、加藤和秀、都築三幸、長谷川勢子
愛知県健康福祉部保健医療局医務国保課 愛知県医療安全支援センター
- NA066 医療事故情報収集等事業データベースを用いたMRI 磁性体持ち込み事故の分析
小谷 俊明、 聖隷佐倉市民病院整形外科
- NA089 合併症と失敗の典型的ナラティブ
吉尾 めぐみ、 慶應義塾大学病院 医療安全対策センター

15:50-1700 **医療安全リスクガバナンス・セッション (一般演題・口演)**

座長: 手塚 則明 (滋賀医科大学)

- NA014 高度医療の安全性確保に向けて
旗手 俊彦、 札幌医科大学医療人育成センター
- NA003 PNS®を導入しての評価 ～1人の看護師長の試み～
青 志織、 独立行政法人 国立病院機構 旭川医療センター
- NA019 現場で活用できるアドバイスデータの試作 ～安全管理体制のサポートツールの開発～
岸部 友紀、 IMSグループ本部事務局看護部
- NA035 医療現場における、レピュテーション向上のための医療安全支援システム
平沼 明史、慶應義塾大学理工学部
- NA101 やる気を引き出すAIを取り入れ医療安全を活性化する
中澤 恵子 内藤 智子 寺田 享志 渡邊 正志、 東邦大学医療センター大森病院
- NA046 地域医療と安全な組織～小規模の経済性～
松永 厚美、 医療法人徳松会 松永病院 転倒滑落予防委員会
- NA082 専従の医療安全管理者の増員に伴う効果と課題
菱沼 和子、吉田 藤子、 宮城県立がんセンター医療安全管理室

(第8会場) 2017年3月18日(土)11:30-12:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 廣井 透雄 (国立国際医療研究センター)

(午前の部) **医療安全リスクアセスメント・セッション (一般演題・ポスター)**

- NA026 北里研究所病院臨床検査科におけるインシデント・アクシデント事例分析 第2報
月居 茉莉子、小淵 淳樹、相原 佳那子、原 美奈子、手金 あけみ、林 規隆、重田 暁
北里大学北里研究所病院診療技術部臨床検査科
- NA104 医療事故調査制度開始に伴うA病院での取り組み
上運天 小百合、上原 尚美、新崎 修
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
- NA078 がん治療に伴うインスリン投与に関連したインシデントアクシデントの背景要因
布施 卓美、川上 和宜、保田 知生、長田 理、 がん研有明病院 医療安全管理部
- NA092 当院における羊水染色体検査に伴う有害事象の検討
高本 真弥 1)2)、定月 みゆき 1)、大石 元 1)、中西 美紗緒 1)、廣井 透雄 2)、矢野 哲 1)
1) 国立国際医療研究センター 産婦人科 2) 国立国際医療研究センター 医療安全管理室

座長: 廣井 透雄 (国立国際医療研究センター)

(午前の部) **医療安全リスクマネジメント・セッション (一般演題・ポスター)**

- NA049 通所リハビリテーションにおけるリスクマネジメントへの取り組み
有馬 泉、水間病院
- NA099 大規模病院における電話復唱率向上に関する検討
土井 和子、 国立国際医療研究センター病院 医療安全管理室
- NA103 患者間違いゼロを目指して ～バーコード認証率上昇への取り組み～
渡慶次 裕美、高木 啓孝、西蔵 當愛、外間 祐美子、赤嶺千佳子、砂川 広野、比嘉 直人
社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
- NA045 エラー診断モードの導入
増田 豊、 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 中央放射線部
- NA039 医療安全に関する川柳
上田 麻里、 医療法人桃李会 御殿山病院
- NA085 入学時における学生の医療安全意識の検討
朱 暁人¹、笠井 健司¹、大滝 恭弘²、
¹ 帝京大学医学部、² 帝京大学医療共通教育研究センター
- NA056 上尾中央医科グループの医療関連施設における清掃状況
島崎 直知、(株)アムル 環境衛生事業部
- NA063 緊急カテーテル検査に対応するための教育方法の検討
玉元 大輔、 大阪暁明館病院 臨床工学科

(第8会場) 2017年3月18日(土) 15:30-16:30

東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 大原 志歩 (横浜市東部病院)

(午後の部) **医療安全クライシスマネージメント・セッション (一般演題・ポスター)**

- NA007 睡眠センターでの夜間睡眠検査中の地震発生時の対応 ～安全管理マニュアルの重要性～
宮川 裕子、 睡眠障害センター 福岡浦添クリニック

座長: 大原 志歩 (横浜市東部病院)

(午後の部) **医療安全コミュニケーションセッション (一般演題・ポスター)**

- NA042 看護師のコミュニケーションスキルとリスクテイキング行動との関係
藤井 真砂子 桑原 宜美 寺崎 和代 北浜 紀美子 秋野 裕信
福井大学医学部附属病院 医療安全管理部
- NA059 基礎看護学実習の事前演習での TeamSTEPPS の取り組み
井上 都之、 岩手県立大学・看護学部

座長: 大原 志歩 (横浜市東部病院)

(午後の部) **医療安全リスクガバナンス・セッション (一般演題・ポスター)**

- NA070 「ヒューマンエラー防ぎ隊」多職種チームによる院内ラウンドの取り組み
山本 友子、 医療法人研医会田辺中央病院医療安全管理者・副看護部長

(午後の部) **看護安全セッション (一般演題・ポスター)**

- NA006 看護学生と看護師の危険予測シートの解答からみた「気づき」の変化
千葉美果 東海大学医療技術短期大学、水元明裕 東海大学医学部附属病院
森 悟子 東海大学医学部附属病院
- NA058 CAM-ICU でせん妄なしと評価された患者による自己抜去の原因
～PmSHELL モデルと 11 段階のエラー対策発想手順を用いて～
三輪 綾子、中田康子、稲坂好美、石浦都姫絵
大阪市立総合医療センター ICU
- NA095 看護師を対象とした輸血に関するアンケート調査 ー現状と課題ー
菅沼 康久 1)、市岡 健人 1)、島中 小百合 2)、富田 和代 2)、田口 勝啓 3)
JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院 検査科 1) 看護部 2) 輸血療法委員長・整形外科 3)
- NA096 リンクナースの役割遂行に向けた取り組み
永山 サヤ子 梅江 のぞみ、 横浜旭中央総合病院 看護部

第3回日本医療安全学会学術総会

(第2日目プログラム)

2016年3月19日(日)

受付: 8:00～17:00 法文1号館1階ロビー

会場:

- | | | | | |
|-------|------------|--------|---|--------------------|
| 第1会場 | 法文1号館1階 | ロビー | : | 受付、企業展示 |
| 第2会場 | 法文1号館2階 | ロビー | : | 企業展示 |
| 第3会場 | 法文1号館1階 | 21番講堂: | | 口演 |
| 第4会場 | 法文1号館2階 | 25番講堂: | | 口演 |
| 第5会場 | 法文1号館3階 | 26番講堂: | | 口演 |
| 第6会場 | 法文2号館2階 | 31番講堂: | | 口演 |
| 第7会場 | 法文1号館3階 | 27番講堂: | | 一般演題(口演) |
| 第8会場 | 法文2号館2階 | ロビー | : | 一般演題(ポスター) |
| 第10会場 | 法文1号館1階 | 22番講堂: | | 口演 |
| 第11会場 | 医学部1号館1階 | 小講義室: | | 自由集会(自由にご利用ください) |
| 第12会場 | 医学部1号館3階 | 大講義室: | | 自由集会(自由にご利用ください) |
| 第13会場 | 医学部2号館本館1階 | 小講義室: | | 発表者控え室(自由にご利用ください) |
| 第14会場 | 医学部2号館本館3階 | 大講義室: | | 談話室(自由にご利用ください) |

**(第4会場) 2017年3月19日(日)午前
東京大学法文1号館25番講堂**

PL02: 総会共同会長 講演 (その2)

9:00-9:30 座長: 松村 由美 (京都大学)

新しい医療安全の流れに乗って

辰巳 陽一 (近畿大学附属病院医療安全管理部教授)

医療安全クライシス・アセスメントパネル:

9:30-11:00

◎PN17: テーマ: **病理医からみた医療安全の現状と将来**

(オルガナイザー) 深山 正久、東京大学人体病理学教授・日本病理学会理事長

田中 伸哉、北海道大学病理学教授・日本病理学会医療関連死委員会委員長

1 臨床医から病理医への要望 (伏見班より)

田中 直文、東京医科歯科大学医学部附属病院 医療安全管理部

2 医療安全部門と病理医の連携 (長尾班より)

長尾 能雅、名古屋大学病院 医療安全管理部

3 医療事故調査での病理解剖の現状

田中 伸哉、北海道大学医学部 腫瘍病理学分野

4 医療安全に関する研究班の動向

内藤 善哉、日本医科大学病理学

5. 医療安全に関する妊産婦の剖検の現状

若狭 朋子、近畿大学医学部奈良病院

総合討論

EL: 教育講演

11:00-12:00 座長: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

テーマ: **臨床における人口知能(AI)の活用事例**

東條 有伸 (東京大学医科学研究所附属病院腫瘍内科教授、副院長、

医療安全・感染症対策センター・センター長)

(第4会場) 2017年3月19日(日)午後 東京大学法文1号館25番講堂

SL02: 特別講演 (2)

13:00-13:40 座長: 東條 有伸 (東京大学)

テーマ: 院内事故調査の標準的調査の方法について

長尾 能雅、名古屋大学病院医療安全管理部部長、教授、副院長

医療安全リスク/クライシス・マネジメントパネル:

13:40-15:30

PN18: テーマ: 効果的なマニュアルの条件と運用

(オルガナイザー) 松村 由美、京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長、教授

人間工学から見たマニュアルのデザイン

小松原 明哲、早稲田大学理工学術院 創造理工学部

経営システム工学科 人間生活工学研究室、教授

チームの目線から見たマニュアルの見直し

辰巳 陽一、近畿大学医学部附属病院 安全管理部・医療安全対策室、教授

品質管理の考えを取り入れたマニュアル・指針の整備

松村 由美、京都大学医学部附属病院 医療安全管理室、教授

医療ARを用いた医療従事者支援システム

田仲 浩平、東京工科大学 医療保健学部 臨床工学科、教授

総合討論

SP03: シンポジウム (2)

15:30-17:00 IoT (モノのインターネット) による医療安全 ～ IoTはカイゼンを超える

座長: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)、佐和 貞治(京都府立医科大学)

IoT (モノのインターネット) は、術後の急変対応に活用できるか?

松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長、教授)

麻酔科医の立場から: 佐和 貞治(京都府立医科大学麻酔科学教室教授、副院長、医療安全)

看護の立場から: 藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部教授、看護安全)

NA015 IoT (Internet of Things)を使った新しい離院防止システムの開発

初雁 育介 (戸塚共立第1病院、医療安全管理室)

総合討論

(第3会場) 2017年3月19日(日)午前
東京大学法文1号館1階21番講堂

医療安全リスク・ガバナンスパネル:

10:00-11:00

PN19: テーマ: 医療安全におけるリーダーシップとフォロワーシップ 会長提案
(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学附属病院医療安全管理部教授

チーム医療構築の中でのフォロワーシップの重要性

辰巳陽一 近畿大学医学部附属病院安全管理部教授

経営学の観点から読み解く医療現場におけるフォロワーシップとリーダーシップ

小野善生 滋賀大学経営学部 准教授

救急医療チームのリーダーとフォロワーが実践するノンテクニカルスキル

中村京太 横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療安全管理学 准教授「」
総合討論

11:00-12:00

PN20: テーマ: 医療安全・医薬品安全・医療機器安全それぞれの管理者の連携の在り方
(オルガナイザー) 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院医療安全推進課 課長

1. 大原 志歩、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 TQMセンター 医療安全管理室
2. 橋本 礼子、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室
3. 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課

総合討論

**(第3会場) 2017年3月19日(日)午後
東京大学法文1号館1階21番講堂**

医療安全クライシス・ガバナンスパネル:

13:00-14:00

◎PN21 テーマ: 法的クライシス・ガバナンスの体制整備の充実と課題

一 危機監理の下での院内医療安全管理の向上と改善したい点

(オルガナイザー) 井上 清成、弁護士

(パネリスト) 加藤 良太朗、板橋中央総合病院副院長

種井 隆文、名古屋セントラル病院脳神経外科

総合討論

14:00-15:30

◎PN22: テーマ: 医療事故発生後の危機管理とシミュレーション教育

(オルガナイザー) 永山 正雄、国際医療福祉大学熱海病院 神経内科教授

事故発生後対応に関する危機管理、PARM (Post-Accidental Response Management) の概念と実際

永山 正雄、国際医療福祉大学教授 国際医療福祉大学熱海病院副院長

他の演者;

横山 直司、鈴木 高弘 国際医療福祉大学熱海病院副看護部長、前薬剤部係長

総合討論

(第10会場) 2017年3月19日(日)午前
東京大学法文1号館1階22番講堂

SL03: 特別講演 (3)

10:00-10:30 座長: 金淵 一雄 (東海大学)

テーマ: 医療事故訴訟の資料を医療安全管理者がどのように活用できるのか
井上 清成、弁護士

医療安全クライシス・アセスメントパネル:

10:30-12:30

PN23: テーマ: すべての死亡・死産症例の病院管理者の下での一元的チェック」の成果と課題
ー 全死亡症例の院内検証の実績と改善点

(オルガナイザー) 井上 清成、弁護士

(パネリスト)

井上 清成、弁護士

石丸 新、戸田中央総合病院 医療安全管理室

高田 伸夫*、前田 富士子、藤原 明美、土井 啓員、大川 正美、北村 享之、鈴木 啓悦

*東邦大学医療センター佐倉病院医療安全管理副室長

総合討論

(第10会場) 2017年3月19日(日)午後
東京大学法文1号館1階22番講堂

医療安全リスク・マネジメントパネル:

13:00-14:30

PN24: テーマ: 院内教育と評価

(オルガナイザー) 秋野 裕信、福井大学医学部附属病院医療安全管理部教授

当院における TeamSTEPPS の院内研修

海渡 健、東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部、教授
セントラルモニタアラームへの対応に関する実態調査と院内教育後の評価

笠川 哲也、福井大学医学部附属病院 ME機器管理部

組織の安全文化構築を目指した管理者向け院内教育

藤原 喜美子、東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室
医療関連感染事例から感染制御院内教育と評価を考える

室井 洋子、福井大学医学部附属病院

RRS に関する教育

井上 浩子、聖マリアンナ医科大学医療安全管理室

総合討論

14:30-16:30

PN25: テーマ: 安全に寄与する組織マネジメント～バランスト・スコアカードの可能性

(オルガナイザー) 末盛 泰彦、九州大学経済学府大学院

医療の質・安全を捉え直す！医療の質・安全管理体制再構築のための新たな手法

北野 達也、星城大学経営学部健康マネジメント系医療マネジメントコース専攻長
星城大学大学院健康支援学研究所 医療安全管理学

我が国における病院 BSC の流布状況と課題

足立 俊輔、下関市立大学経済学部准教授

海老名総合病院における BSC 導入・推進の取組みについて
～BSC 活用による組織風土改革～

高野 洋、座間総合病院管理部管理課

労災病院グループの BSC

窪田 秀伸、労働者健康安全機構 医療安全対策課

総合討論

**(第5会場) 2017年3月19日(日)午前
東京大学法文1号館3階26講堂**

医療機器安全分野パネル:

9:00-10:30

PN26: テーマ: 医療安全に資する医工連携製品の普及に向けた諸課題

(オルガナイザー)

青木 郁香、公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所
井福 武志、社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 患者支援部、
公益社団法人日本臨床工学技士会 副会長

感染予防用アイガードの開発経験から臨床家によるデザイン思考と医療安全の相性を考察する

西垣 孝行、独立行政法人国立循環器病研究センター 臨床工学部

針刺し事故ゼロを目指して ペン型注入器用注射針取り外し器の開発

澤田 博幸、医療法人社団寿量会熊本機能病院 医療機器安全管理室

医療機器保守管理関連製品の開発

野沢 義則、八戸市立市民病院 臨床工学科兼医療安全管理室

日本臨床工学技士会における医工連携の取り組み

加藤 博史、一般財団法人神戸市地域医療振興財団西神戸医療センター 臨床工学室、
公益社団法人日本臨床工学技士会 臨・学・産連携推進委員長

総合討論

10:30-12:00

PN27: テーマ: 在宅医療における医療機器の安全管理の課題

(オルガナイザー) 石井宣大、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部

肥田 泰幸、J A山口厚生連長門総合病院臨床工学科、

公益社団法人日本臨床工学技士会 常任理事

在宅医療における医療機器の安全管理の実際と課題 (人工呼吸器)

近藤 陽一、医療法人はるたか会 あおぞら診療所墨田

退院調整における医療機器の安全管理の実際と課題

野上 智絵、独立行政法人国立病院機構 東京病院

在宅医療における医療機器の安全管理の課題

阿部 博樹、医療法人康曜会 プラーナクリニック技士長

在宅医療における医療機器の安全管理の課題

春田 良雄、公立陶生病院臨床工学部臨床工学室

総合討論

**(第5会場) 2017年3月19日(日)午後
東京大学法文1号館3階26講堂**

医療安全クライシス・コミュニケーションパネル:

13:00-15:00

PN28: テーマ: 金銭請求を伴うクレーム処理の実際とクローズドクレームの分析の有用性

(オルガナイザー) 大滝 恭弘、帝京大学医療共通教育研究センター准教授

医師賠償責任保険の仕組みと医事紛争の実状

大山 泰明、損保ジャパン日本興亜株式会社 医師賠償保険金サービス課 課長
保険会社におけるクレーム処理の実際

齋藤 裕一、損保ジャパン日本興亜株式会社 医師賠償保険金サービス課 課長
院内の医療事故調査の実状と課題

大磯 義一郎、浜松医科大学 医学部 法学講座 教授

医療裁判における弁護士の関与と実状

福原 正和、棚瀬法律事務所 弁護士

クローズドクレーム分析の有用性

大滝 恭弘、帝京大学 医療共通教育研究センター 准教授

総合討論

**(第6場) 2017年3月19日(日)午前
東京大学法文2号館31番講堂 午前**

看護安全分野パネル:

9:00-10:30

PN29: テーマ: 医療安全における段階別看護教育

(オルガナイザー) 金子 恵美子、東京女子医科大学東医療センター 医療安全対策室

看護基礎教育の立場から

藤井 千枝子、慶応大学 看護医療学部看護学科 教授

医療安全における段階別看護教育

伊地知 淑子、東京女子医科大学東医療センター 看護部副部長

輸液ポンプ・シリンジポンプライセンス制度導入の実際

宮崎 歌津枝、東京女子医科大学病院 医療安全対策室 専従看護師長

総合討論

10:30-12:00

PN30: テーマ: 看護師の Non-Technical Skills 育成に向けた教育研修を前進させるには
—看護基礎教育と継続教育を繋いで—

(オルガナイザー) 衣川 さえ子、国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科教授

臨床現場における看護師の NTS 育成上の課題

—インシデント分析からみた NTS 育成上のニーズと課題—

福元 大介、国立病院機構東京医療センター医療安全管理者 看護師長

看護師の NTS 育成のための継続教育の実際

—医療安全研修の一部にノンテクニカル・スキルを意識して—

堀 美和子、独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院、

医療安全管理室長統括リスクマネージャー 看護師長

看護師の NTS を支援する「点滴管理における安全チェックリスト」の有用性の検討

岩本 郁子、東京医療保健大学東が丘・立川看護学部 看護学科 准教授

看護学生のための Non-Technical Skills Training Program の開発

衣川 さえ子、国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科 教授

総合討論

**(第6会場) 2017年3月19日(日)午後
東京大学法文2号館31番講堂 午後**

医療安全リスク・マネジメントパネル:

13:00-14:00

PN31: テーマ: 環境整備から考える転倒・転落予防

(オルガナイザー) 堀田 まゆみ、東海大学医学部附属大磯病院 医療安全対策室

(パネリスト)

峰村 尚子、医療法人愛仁会 太田総合病院 医療安全管理部

堀田 まゆみ、東海大学医学部附属大磯病院 看護部、医療安全対策室 (兼任)

総合討論

医薬品安全分野パネル:

14:00-15:00

PN32: テーマ: 内服薬関連エラーを防ぐための取り組み

(オルガナイザー) 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院医療安全推進課 課長

(パネリスト)

大原 志歩、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 TQM センター 医療安全管理室

橋本 礼子、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室

三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課

総合討論

(第7会場) 2017年3月19日(日)

東京大学法文1号館3階27番講堂

10:40-12:00 臨床安全セッション (一般演題・口演)

座長: 福田 幾夫 (弘前大学)

NA009 甲状腺・副甲状腺手術における術後出血の実情

福島 光浩、 隈病院 外科

NA034 PRK 近視手術で見られなかったレーシック術後の有害事象について

奥山公道、山中真理子、篠井聡子、 奥の山・参宮橋アイクリニック

NA036 安全な医療を行う時に見逃されていた血液細胞について

松元 司・遠入 秀昭・小菅 成治、 日本薬検査センター

NA037 安全な医療を行う時に見逃されていた血液細胞について2

松元 司・遠入 秀昭・小菅 成治、 日本薬検査センター

NA038 安全な医療を行う時に時に必要な「生きている組織細胞を観察する医学」について

松元 司・遠入 秀昭・小菅 成治、 日本薬検査センター

NA086 静脈内PCAの安全性向上に向けた取り組み

○村松 陽子¹、平田 修司²、鈴木 章司²、蓮沼 知津子²、伊藤 雅美²

1 山梨大学医学部附属病院 1階西病棟、2 医療の質・安全管理室

NA091 カテーテル関連血流感染症減少に与えるPICCカテーテルの可能性 -医療安全の観点から-

中山 晴雄、 東邦大学医療センター大橋病院 院内感染対策室

NA061 小児夜間救急病棟における小児早期警告スコアリングシステム導入の検討

- 「YAHATA-Modified B-PEWS Ver1_2016_iPEWS」を活用して-

伊藤 裕子、 東京都立小児総合医療センター・看護部

13:10-14:00 医薬品安全セッション (一般演題・口演)

座長: 坂口 眞弓 (みどり薬局)

NA021 よりよい医療サービスを行うための手順書作り

～誰にでもできる経口与薬をめざして～

安中 治子、 IMSグループ本部事務局看護部

NA022 投薬業務におけるヒューマンエラーの検討 -作業の信頼性分析方法について-

田中 秀典、 IMSグループ本部事務局看護部

NA004 抗がん剤曝露防止を目的とした”完全一体型輸液ライン“の共同研究開発

吉田 哲也、 神戸市立医療センター中央市民病院

NA060 正しい抗がん剤の選び方と適正な投与量の決定方法について

小菅 成治、遠入 秀昭、松元 司、 松元生細胞研究所

NA106 抗凝固薬の服薬中止・再開に関する情報共有について

齋藤 義貴、 東戸塚記念病院

(第7会場) 2017年3月19日(日)
東京大学法文1号館3階27番講堂

14:00-14:10 **歯科安全セッション (一般演題・口演)**

座長: 三井 良之 (近畿大学)

NA064 病院歯科口腔外科における医療安全

高木 純一郎、 石川県立中央病院・歯科口腔外科

14:10-15:00 **医療機器安全セッション (一般演題・口演)**

座長: 三井 良之 (近畿大学)

NA002 CE保守管理業務での「安全」を担保した病院経営への参画

工藤 絢子、 聖隷横浜病院 臨床工学室

NA033 当院における電波環境調査

御園 恒一郎、別所竜蔵、 日本医科大学千葉北総病院・ME部

NA062 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修内容改善の取り組み

菅原 洋一 原田 学 渡邊 尚 岩谷 理恵子 平塚 明倫、

東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部

NA072 透析装置トラブルシュートの臨床工学技士の失敗原因に関する分析

前田 佳孝¹⁾、鈴木 聡²⁾、小松原 明哲³⁾、

1)早稲田大学創造理工学部、2)神奈川工科大学工学部、3)早稲田大学理工学術院

NA073 大規模な医療機器メーカー変更がインシデント報告に与える影響

井上 宗紀、 一般財団法人神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター 臨床工学室

15:00-15:50 **転倒転落セッション (一般演題・口演)**

座長: 三井 良之 (近畿大学)

NA018 転倒・転落防止活動支援に関する検討

高安 美貴、IMSグループ本部事務局看護部

NA051 高齢者の転倒事故防止のためのリスク分析方法

難波 孝彰、 名古屋大学大学院・工学研究科

NA054 認知症治療病棟における転倒転落対策の妥当性に関する研究

岡澤 学¹ 金井 啓揚² 鈴木 良子³ 吉崎 広大¹

医療法人花咲会かわさき記念病院 リハビリテーション科¹ 画像診断部² 看護部³

NA093 転倒アクシデント対策チームの取り組みについて

井澤 寿敬、 医療法人社団喜峰会東海記念病院

NA097 転倒・転落アセスメントシート及びインシデントレポート集計の一考察

住田 勝¹ 澤 愛子¹ 沼田 洋志¹ 久郷 稔² 高田 政彦³ 宮下 浩明³

近江八幡市立総合医療センター 医療安全管理室¹ 医療技術部² 診療部³

(第7会場) 2017年3月19日(日)

東京大学法文1号館3階27番講堂

15:50-16:30 リスク情報セッション (一般演題・口演)

座長: 鈴木 聡 (神奈川工科大学)

NA032 バーコード認証によるピッキングサポートシステムの活用

- 1) 島元 健次、2) 辰巳 陽一、3) 加戸 聖美、4) 西川 三恵子、5) 大洞 佳代子、
6) 古川 諭、7) 柳江 正嗣

近畿大学医学部附属病院 医療安全対策室

NA090 セントラルモニタの安全管理ーアラーム削減活動の有用性ー

三輪 直毅、 木沢記念病院・臨床工学課

NA100 患者位置情報システムの開発と実際の運用

矢嶋 知己、 札幌道都病院・診療部

NA102 医療安全モニタリングシステムの試行について

春日 道也、 株式会社NSDビジネスイノベーション

(第8会場) 2017年3月19日(日) 11:30-12:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 安田 あゆ子 (藤田保健衛生大学)

(午前の部) **転倒転落セッション (一般演題・ポスター)**

- NA001 転倒転落の予防における排泄誘導の必要性～転倒転落のインシデント報告の比較～
寺倉 明希、 大垣市民病院・看護部
- NA029 リスクワーキンググループの挑戦～転倒転落を減らすために～
松岡 克憲、 県立延岡病院 3階東病棟
- NA048 院内新生児転落事故の実状とその危険因子に関する調査
三井 崇、 (医) 葵鐘会 ローズベルクリニック
- NA069 夜間の排泄に関連した転倒転落予防への取り組み～ハイリスク患者に眠前の排泄誘導を行って～
福田 友美 松本 美香 北川 容子 谷口 令花 小島 尚文 東 千治
国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院
- NA077 脳神経外科病棟における転倒転落アセスメントスコアの考察
松本 彩菜、 愛知県厚生農業組合連合会 海南病院 脳外科病棟
- NA088 急性期脳神経外科病棟における転倒転落の傾向と患者特性
古賀 智子、 聖マリアヘルスケアセンター・リハビリテーション室

(第8会場) 2017年3月19日(日) 15:30-16:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 本多 秀俊 (東京大学)

(午後の部) **医薬品安全セッション (一般演題・ポスター)**

- NA010 経口摂取のための物性を考慮した誤嚥しにくい服用支援ゼリーの開発
—錠剤飲み辛いは錠剤粉砕ではなくゼリーで安全な服用—
盛本 修司、株式会社モリモト医薬
- NA011 曝露防止対策としても有効な、気密式液中粉碎懸濁注入バッグの開発
—より安全、安心、簡便な簡易懸濁法を提供—
盛本 修司、株式会社モリモト医薬
- NA012 医療安全に貢献する次世代錠剤包装(ESOP)の開発
—誤飲、誤薬、残薬の防止とCR(子供誤飲防止)対応包装—
盛本 修司、株式会社モリモト医薬
- NA013 薬剤課からの情報発信
末吉 宏成、山内 健太郎、村本 眞由美、北九州市立八幡病院・診療支援部薬剤課
- NA027 抗血栓薬の投与量及び術前休薬に関するリスト作成による適正使用について
南雲 成・山田 真美・寺井 宏太・浅野 愛・菅原 早織・舩津 久美
東京都立広尾病院・薬剤科
- NA031 処方箋を介した薬薬連携の取り組み
河瀬 留美、西淀病院・医療安全管理室
- NA053 ハイリスク薬の横断的リスク回避システムの現状報告と薬剤師の意識調査
上山 涼子、中山 みずえ、端山 明子、田中 育子、富島 智子、渡部 安加、角田 延子、
見田 秋与志、岡本 禎晃、大原 英明、木戸 泰子、佐治 文隆
市立芦屋病院
- NA055 プレアボイド報告の現況調査
重松 明美 1)、佐藤 史織 1)、平島 智子 1)、畑尾 由紀 2)、森 一生 1)
1)大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部 2)同 医療安全管理室

(午後の部) **医療機器安全セッション (一般演題・ポスター)**

- NA050 生体情報モニタのアラームレポートを用いた安全使用対策について
上野 山充、大阪府立急性期・総合医療センター

次期学術総会の開催

第4回日本医療安全学会学術総会

会期: 2018年2月17日(土)～18日(日) 予定

会場: 東京大学本郷キャンパス

共同総会長:

深山 正久

東京大学大学院医学研究科教授(人体病理学・病理診断学分野)、日本病理学会理事長

深山 治久

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻酔・生体管理学分野教授

佐和 貞治

京都府立医科大学副院長、麻酔科学教室教授、医療安全管理部部長、中央手術部部長



Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに
過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の
創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに
歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から
治療・治療にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。
その一つひとつに答えていくことが、私たちの新たな使命。
よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早く
お届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。
世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の
未来を切り拓いていきます。

www.takeda.co.jp

武田薬品工業株式会社



人と医療のあいだに...

私たちは
医療を必要とする人と支える人の
架け橋となり
健康でより豊かな生活に
貢献することで
すべての人々を笑顔にします



総合医療機器メーカーとして
製品の開発・製造・販売に取り組んでいます

株式会社 ジェイ・エム・エス
<http://www.jms.cc/>

広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 / FAX 082-243-5997
東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 / FAX 03-6404-0610

2015.12 JMS

一般社団法人 日本医療安全学会のホームページ

<http://www.jpscs.org/>

第3回日本医療安全学会学術総会事務局

一般社団法人 日本医療安全学会本部内

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770

Email: 3amt@jpscs.org